

浮棧橋の更新により耐災害性を強化し、継続的な救助等を実施する（長崎県壱岐市）

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策
(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策



対策名：25 海上保安施設等の耐災害性強化対策

主たる施策グループ：2-1) 自衛隊、警察、消防、海保等の被災等による救助・救急活動等の絶対的不足



事業名：壱岐海上保安署浮棧橋整備事業

- ポイント**
- 老朽化した浮棧橋の更新を実施し、未然に物的被害の発生を防止
 - 災害時においても浮棧橋の機能を維持し、継続的な救助・支援活動等の実施が可能

地域の概要・課題

海上保安庁では、「海上の安全及び治安の確保を図ること」を任務とし、この任務を果たすため全国各地に巡視船艇等を配備しているところ、これら巡視船艇等の安定した係留施設を確保するため、浮棧橋を整備しております。

しかし、これら浮棧橋は全国的に老朽化が著しくなっており、災害による物的被害が発生して係留施設として機能しない場合、当該施設を拠点とする巡視船艇等の任務に支障が生じるため、発災時においても継続して任務を遂行できる係留施設の確保を行う必要がありました。

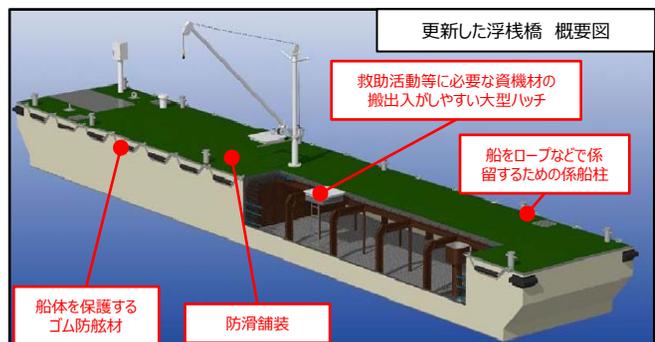
事業の概要

壱岐海上保安署巡視艇の浮棧橋は、製造から30年以上が経過しており各種部材の老朽衰耗が著しく、災害による物的被害が発生し、係留施設としての機能を喪失することにより、当該施設を拠点とする巡視艇の継続的な救助・支援活動等の実施や巡視艇船体及び職員の安全確保に支障が生じるため、物的被害の発生を未然に防止すべく、浮棧橋の更新を実施しました。

見込まれる効果

棧橋の更新により耐災害性の強化を図ることができ、台風等の災害による被害を未然に防止し、安定した係留施設を確保することで、継続的な救助・支援活動等の実施が可能になります。

また、棧橋の更新により、巡視艇船体及び職員の安全確保が可能となります。



2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

3 (1) 国土強靭化に関する施策のデジタル化

(2) 伝達の高精度化
災害関連情報の予測、収集・集積・